

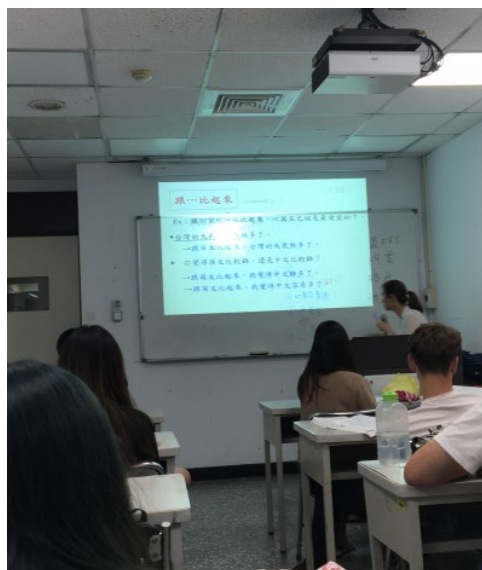
留学だより その2(2017年4月～5月分)

経済学部 3年 岸里現輝

淡江大学に留学して3か月以上が経ちました。五月の台湾は毎日30度近くあるため、部屋では設置されているクーラーを使用して生活しています。さらに突発的な大雨が多いのも台湾の特徴の1つです。もし皆さんが台湾に行く機会があれば折り畳み傘を常備しておくと思います。

淡江大学では様々な授業を選択することができます。また、違う学部の授業でも興味があれば参加することが可能です。言語のクラスもとても多く、ドイツ語、フランス語、韓国語などはもちろんスペイン語やロシア語などもあり、自分次第で何でも学ぶことができます。私は中国語の授業の他に経済学の授業や全英語のマネジメントの授業などを受講しています。難しい内容ですが、どれも日本では受けることのできない授業ばかりでとてもやりがいがあり充実しています。以前わたしと日本人の友人で日本語の授業に参加し、そこで台湾人の友人を作ることに成功しました。今でも彼らと食事に行ったり、勉強を教えあったりしています。

中国語の授業は先生が話すことよりも個々が発言をしたりグループで学生同士が話し合うことのほうが多いです。またグループで行う宿題もあるため、より話すことが重要になってきます。初めの頃は自分の考えを上手く伝えることに苦労していました。しかし回数を重ねていくたびに徐々に慣れてきて以前よりは会話がスムーズにできるようになりました。



大学の近くには様々な料理屋さんがあり、どこも美味しいお店ばかりです。台湾料理をはじめ、パスタやハンバーガー、インド料理やお寿司屋さんもあるので食事にはまったく困りません。私がここ最近ハマっている食べ物は、ルーローファンというご飯の上にチャーシューのような豚肉が小さくカットされている食べ物です。初めて食べた時の感激は今でも忘れられません。美味しいうえにとってもお手頃な価格なので本当は毎日でも食べたいのですが、ヘルシーかと言われるとそうではないので週に2,3回にしています。この料理は台湾ではとても有名でぜひ皆さんにも食べてもらいたい料理の1つです。

残り約1ヶ月で前学期が終了します。ルームメイや仲の良い友人もこの学期で帰国してしまいます。残りの時間を大切に、この生活を有意義なものにできるよう楽しみたいと思います。

